

モスバーガーの名前の由来

日本でのハンバーガーチェーンは多くありますが、「一番美味しいと思うバーガーチェーンは？」というアンケートではモスバーガーが1位になっています。このモスバーガー、日本生まれであることをご存知でしたでしょうか。

モスバーガーは1972年3月12日に東京・板橋で誕生しました。現在が2021年ですから来年で半世紀になります。1号店はわず



か2.8坪で、カウンター席が5つあるだけの小さなお店でした。日本人の

舌にあわせようとミートソースは100回以上も試作して開発したそうです。そして現在の店舗数はおよそ1,250店、海外での展開も進み、世界規模のバーガーチェーンに成長しました。

モスバーガーを生み出したのは元証券マン。アメリカに駐在していた頃に出会ったハンバーガーショップ「Tomy's」。決して好立地とは言えない場所にあったのに材料と味の良さで大繁盛しており、本当においしいものを提供すれば一等地でなくともお客様は来てくれると思い、Tomy'sで無償

の修行を経てモスバーガーを立ち上げたそうです。

社名の「MOS」は[Mountain(山のように気高く堂々と)][Ocean(海のように深く広い心で)][SUS(太陽のように燃え尽きる事のない情熱を持って)]の頭文字から取ったそうです。

ちなみに、「M」をかたどったロゴは手書きの文字が特徴で、手作り感、暖かさを表現しており、顧客の注文を受けてから作る方式を採用することで、美味しさや健康にこだわった手作りの味わいを特徴としていることを表現しているそうです。

特殊鋼豆知識

炭素工具鋼の鋼種

炭素工具鋼の鋼種とカーボン量は右表の通りです。ヤスリ、カミソリ、刃物、錐、斧、ゲージ、ぜんまい、ペン先、チゼル、刻印、丸のこ等、炭素工具鋼は加工性、焼入性、

価格等で最も広い用途で使われています。製品に求められ

鋼種	C(カーボン)量	鋼種	C(カーボン)量
SK140(旧SK1)	1.3~1.5%	SK85(旧SK5)	0.80~0.90%
SK120(旧SK2)	1.15~1.25%	SK70(旧SK6)	0.65~0.75%
SK105(旧SK3)	1.0~1.1%	SK65(旧SK7)	0.60~0.70%
SK95(旧SK4)	0.9~1.00%		

ヨシナカ新聞

10月号

発行所  
株式会社ヨシナカ  
東京営業所  
TEL:03-3555-0796

台風の特異日

「特異日」とはその前後の日と比較してある天気や現象がはっきりと多く現れる不思議な日のことを言います。晴れの特異日、雨の特異日、寒さの特異日、台風来襲の特異日などがあり、日本だけではなく世界でも古くから知られていて、英語では特異日のことを「Singularity(シンジュラリティー)」と言います。

9月16日~17日頃と9月26日~27日頃は台風襲来の特異日と言われています。



9月17日に上陸したのは枕崎台風が有名です。1945年のこの日、鹿児島県枕崎市付近に上陸し九州を

縦断したあと、広島市の西を進みましました。この時広島は原爆投下の直後であり、広島県だけで2千人以上が犠牲になっています。また、1961年9月16日には秒速84.5M以上という恐ろしい暴風を記録した第二室戸台風が高知県室戸岬付近に上陸しています。

9月26日頃に襲来した台風として上げられるのが青函連絡船の洞爺丸が転覆した1954年の洞爺丸台風、1958年の狩野川台風、1959年の伊勢湾台風等です。伊勢湾台風では死者行方不明者が5千人を超え、戦後の台風としては最悪の被害をもたらしました。

今年の9月17日では19時頃に台風14号が福岡県に上陸しています。台風が福岡県に直接上陸するのは統計開始以来初めてです。台風の特異日に

台風が襲来、上陸し、今年もあてはまったこととなります。

このように、特定の日に、とある天気や現象が見られやすい理由のはっきりとはわかっておらず、また、何十年か経つとその天気が出現する確率が前後の日と比べて変化がなくなってしまい、特異日とは言えなくなってしまう等ということもあり、現在、気象庁では特異日という表現は使用していないそうです。

しかし、今年の26日にはフィリピンの東に台風が発生しており、西日本や東日本ではうねりが発生していましたので、やはり特異日として毎年意識していた方が良いのかもしれませんが、10月では10月10日が晴れの特異日として知られています。

「根を張る」の意味

数年前からある女性シンガーソングライターの曲を良く聞くようになりまし。彼女の作品の中には「根を張ろう」「根を張る」という歌詞がところどころ出てきます。その意味はなんとなく感覚でわかるような気がするのですが、言葉にしようとするとなかなか出ません。そこで、この意味を調べてみました。

例えば、一本の木がありません。日照りが続き、木の周りにある水分は全て吸ってしまいました。そして生きるために次の水分を求めて根を伸ばしていきます。そうしていくうちに地面に根が張り嵐が来ても地震が来ても倒れなくなります。

一方、雨の多い場所に立っている木は根を張らずともいつでも水分を吸えるので、嵐が来たらすぐ倒れてしまいがち。人生において、困難や苦難を経験した時に、逃げずに知恵を絞り、行動を起こすことで、土台がしっかりしていきます。そして新たな困難に直面しても、根が張っているのびくともせず、自分を飛躍させていくことが出来るようになるという意味のようです。